



2017
Takarasienne
Interview

花組
まい そら ひとみ
舞空 瞳さん

2017年最初のTOKKの表紙をキュートな笑顔で飾ってくれたのは、阪急阪神の初詣ポスターモデルを務めた舞空 瞳さん。2016年3月に初舞台を踏み、同年11月の宝塚大劇場公演で花組生としてデビューしたばかりの彼女に、ポスター撮影の感想や今後の目標などを伺いました。

いつも“真心”を大切に…

1 初詣ポスターの撮影はいかがでしたか？

振袖を着させていただくのが初めてだったので、綺麗なお着物に圧倒されてしまって…。小道具の持ち方など難しい点もあり、とても緊張したのですが、スタッフの皆さんにお力を貸していただき、本当に楽しい撮影でした！髪型のアドバイスをいただくなど、色々なことを学ばせていただけたと思います。

2 初舞台の感想をお聞かせください。 また今、花組生として感じていることは？

初舞台公演の初日の幕が開き、お客様の前でライトを浴びた時の感動は忘れられません。また、同期皆でキラキラと輝くことを目標に稽古してきたラインダンスを、お客様にご覧いただけたことが本当にうれしかったです。

ご一緒させていただいた星組の皆さんから、周囲の呼吸を感じ、心一つにして舞台に臨むことの大切さを教えていただけたのも幸せでした。その後、花組生として初めて出演させていただいた『こんじほ金色の砂漠』では、登場人物の心情などをダンスで表現する「砂の女」役の中に入れていただきました。上級生の方々から、一つ一つの振付に対してストーリーを掘り下げ、心を動かして踊ることを教えていただくなど、日々勉強になることばかりで…。これからも、お芝居だから、ダンスだから…と分けて考えるのではなく、常に心を大切にしていきたいです。



3 今後はどんな娘役を目指したいですか？

何色にでも染まれて、かつ品のある宝塚らしい娘役さんに憧れています。これからは花組の娘役として、いつも真心を大切に、どんな色にでも染まれる純粋さを持った娘役になりたいと思っています。一生懸命精進してまいりますので、応援よろしくお願いたします。

PROFILE 舞空 瞳さん

神奈川県出身。2016年3月、星組公演『THE ENTERTAINER!』で初舞台。4月、花組に配属。2017年1月2日からは、花組東京宝塚劇場公演『雪華抄(せっかしょう)』『金色の砂漠』に出演する。愛称は“ひっとん”。